

MAINSTREAM

プログラマブルコントロールキー搭載

ライブ配信・ビデオキャプチャ用インターフェースー

取扱説明書 Ver1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

目次

MAINSTREAM	1
安全に関する注意事項.....	3
第 1 章：システム概要	5
第 2 章：リアパネル	8
第 3 章：MainStream トップパネル	14
接続.....	20
付録 A：サービス情報.....	23
付録 B：技術情報.....	24
保証.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

安全に関する注意事項

1. この説明書をお読みいただき、大切に保管してください。
2. すべての警告と指示に従ってください。
3. 水の近くで使用しないでください。
4. クリーニングは乾いた布のみを使用してください。
5. 通気口をふさがないでください。製造元の指示に従って設置してください。
6. 十分な換気のため、本機の周囲に最低 **5 cm** の空間を確保してください。
新聞紙やテーブルクロス、カーテン等で通気口を覆って換気を妨げないでください。
7. ラジエーター、温風器、ストーブ、アンプなどの発熱器具の近くに設置しないでください。
8. 本機の上に、点火したろうそく等の裸火を置かないでください。
9. 極性付きまたは接地用プラグの安全機能を無効にしないでください。極性付きプラグは、2枚の刃のうち一方がもう一方より幅広く作られています。接地用プラグは2枚の刃に加えて3本目の接地ピンがあります。幅広い刃または3本目のピンは安全のために設けられています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事士に相談してコンセントの交換を依頼してください。
10. 電源コードが踏まれたり物に挟まれるなどで損傷しないように注意してください。特にプラグ、コンセント、機器から出る部分に注意してください。
11. メーカーが指定した付属品／アクセサリのみ使用してください。
12. メーカーが指定した、または本機と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルのみ使用してください。カート使用時は、転倒によるけがを避けるため、カート／機器の組み合わせに注意してください。
13. 雷雨時や長期間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 故障した場合、有資格のサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物の混入、雨や湿気への曝露、動作不良、落下など、本機に何らかの損傷が生じた場合はサービスが必要です。
15. 本機を水滴や飛沫にさらさないでください。花瓶やビールグラスなど液体の入った物を本機の上に置かないでください。
16. コンセントや延長コードに負荷の高い機器を接続しないでください。火災や感電の原因になります。
17. 使用時の周囲温度は最大 **45°C**を超えないようにしてください。
18. 注記：本機は FCC 規則 Part 15 の Class B デジタル機器に適合し、家庭で使うときに、無線の妨害が起きにくいように設計されています。ただし、説明書どおりに設置・使用しないと妨害が起きる場合があります。ラジオやテレビの受信に妨害が出たら本機の電源を入／切して本機による妨害の有無を確かめ、次の対策を試してください。
 - ・ 受信アンテナの向きを変える、または場所を移す。
 - ・ 本機と受信機の距離を離す。
 - ・ 受信機とは別系統のコンセントに接続する。
 - ・ 販売店または経験豊富なラジオ／テレビ技術者に相談する。

19. 本機の変更や改造は行わないでください。。
20. 本機器は、FCCおよびISEDが定める一般環境の「電波ばく露」限度に適合しています。
放射部(アンテナ)と身体との間に20cm以上の距離を保って設置および使用してください。
21. 非常に大きな騒音に長時間曝されると、恒久的な聴力損失を引き起こす場合があります
(以下、OSHA の許容暴露表を参照)。

1日の暴露時間 (時間)	音圧レベル dBA (スロー応答)	代表例
8	90	小規模クラブでのデュオ演奏
6	92	(例なし)
4	95	地下鉄車内
3	97	(例なし)
2	100	非常に大きな音のクラシック音楽
1.5	102	(例なし)
1	105	締切について上司が部下に怒鳴る声
0.5	110	(例なし)
0.25 以下	115	ロックコンサートで最も大きい部分

廃棄について：一般家庭ごみとして廃棄しないでください。

第 1 章：システム概要

はじめに

本書は本製品「MainStream」についての詳細な情報をまとめた取扱説明書です。Mackie MainStream は、映像・音声・配信コントロールを一体化した強力なデバイスで、プロ品質の配信を手軽に始められます。

マイク、ゲーム映像、その他の入力を MainStream に接続するだけで、必要な操作を手元で行えるスマートなオールインワン環境を構築できます。

MainStream には、USB-C や HDMI、プロ仕様のオーディオ端子など、魅力的な配信に必要な高品位入出力を搭載します。さらに、サンプルの発動、トランジションのコントロール、オンラインコミュニティとの新しい関わりを可能にするプログラマブルキーなど、強力な機能を備えます。

MainStream には、フルコントロールとカスタマイズを実現する Mackie Matrix ソフトウェアが含まれます。

特長

リアパネル

- ・ XLR/TRS コンボマイク入力 (+48V) (60dB)
- ・ ヘッドセットマイク／リターン
- ・ ダイレクトモニタリング オン／オフ
- ・ AUX 入力
- ・ 1/4 インチ ヘッドホン出力
- ・ 1/4 インチ モニター出力
- ・ HDMI 入力 (1080p×60fps キャプチャ)
- ・ HDMI パススルー (4K×60fps)
- ・ デュアル USB-C 入力ハブ
- ・ 単一 USB-C インターフェース (バスパワー)

トップパネル

- ・ 多機能キー 6 個
- ・ マイクレベルコントロール
- ・ レベルインジケーター
- ・ PC オーディオリターン レベルコントロール

- HDMI オーディオ レベルコントロール
- マイク/AUX ミュート
- ステレオ出力メーター
- ヘッドホン/モニター レベルコントロール
- HDMI オーディオミュート
- ヘッドホン/モニターミュート

注意

- 大音量の音楽を長時間聴かないでください。
聴覚保護については、2 ページの安全に関する案内を参照してください。
- 出荷用の箱や緩衝材は保管してください。後で必要になる場合があります。
- 購入時のレシートは安全な場所に保管してください。

このガイドについて

このガイドは使いやすさを重視し、可能な範囲で小見出しを充実させています。全体を行き来して探す手間を減らします。MainStream の使い方を理解するために、最初から最後まで読む必要はありません。

「百聞は一見にしかず」という考え方にに基づき、本文を補うために多くのイラスト、スクリーンショット、画像を掲載します。

重要

極めて重要または特筆すべき情報を示します。ご自身のために、必ず読んで覚えてください。

さらに詳しく

より詳しい情報を案内します。ここには機能の説明や実践的なヒントを掲載します。

注意

文章に注目してください。MainStream の使用に関する特定の機能や操作に注意を促します。

セットアップの手順

以下の手順で **MainStream** を素早くセットアップできます。より詳しい手順を確認したい場合は、この後のページに詳しい情報があります。

1. すべての機器の電源を **OFF** にした状態で配線してください。ボリュームは最小にしてください。
2. **MainStream** に信号源を接続してください。
例：
 - ・ マイクとヘッドフォン／モニター、またはヘッドセット [必要に応じて 48V ファンタム電源を追加してください]。
 - ・ TRRS 1/8 インチ AUX 端子に接続したスマートフォン。
 - ・ HDMI 入力端子に接続した映像機器 [PC、ゲーム機、デジタル一眼レフなど]。
 - ・ USB-C IN 端子に接続した Web カメラ、USB マイク、USB メモリなど。
3. 付属の USB-C ケーブルの一方を **MainStream** の USB-C OUT 端子に、もう一方をコンピューターに接続してください。コンピューターの電源を入れると自動的に起動します。
4. **MainStream** に接続した機器の電源を入れてください。
5. すべてのミュートスイッチが **OFF** であるか確認してください。
6. 任意のアプリケーションを起動し、マルチファンクションキーを希望の割り当てに設定してください。
7. 入力と出力の音量をゆっくり上げ、快適に聴けるレベルにしてください。
8. 配信を開始してください。

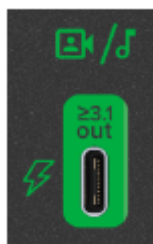
第 2 章：リアパネル



はじめに

MainStream の主な機能はトップパネルに集約されていますが、電源が入らず、マイクやヘッドフォン、スタジオモニターなどが接続されていなければ、何も起きません。まずはそこから始めます。MainStream の左下付近にある USB-C 電源コネクタから各部の機能を順に見ていきます。続いて入力ジャックと出力ジャックを確認し、本体を一周しながら紹介します。

オーディオ／ビデオインターフェースと電源コネクタ



この 2×2 USB-C ポートは MainStream の唯一の電源です。付属ケーブルの一端を本製品の USB-C ポートに、もう一端をコンピューターの USB-C ポートに接続してください。コンピューターの電源が入っていれば、本製品にも電源が供給されます。

注意

筐体のシルク印刷のとおり、このコネクタは USB-C 3.1 以上の認証ケーブルのみに対応します。

このポートは電源供給に加え、オーディオ・ビデオ・データをそれぞれ独立して送受信します。HDMI、USB、アナログ入力も含みます。各ビデオ、オーディオ、USB デバイスは、コンピューターに接続すると独立したソースとして認識されます。後述のとおり、各ソースには個別の音量コントロールがあります。

このポートは 4Kp60 (Ultra HD) に対応します。HDMI 入力の最大キャプチャ解像度は 1080p60 (フル HD) です。USB オーディオのフォーマットは 24 ビット／48kHz です。

さらに、このポートはコンピューターからのステレオオーディオを受け取り、ヘッドフォン、モニター、ミックスマイナスへ送ります。音量は本製品前面の PC オーディオリターンレベルコントロールノブで調整します。本体左上の小型ノブです。目印として、ノブ下のシルク印刷にコンピューターのアイコンがあります。

また、USB-C ポートはファームウェア更新、ファンクションキー、ミドルウェアの転送にも使用します。常に最新をお使いいただくため、製品ページからファームウェアアップデート用ソフトウェアをダウンロードしてください。

注意

設定から入力と出力を「MainStream」（または「MainStream HDMI」）に変更してください。忘れないでください。

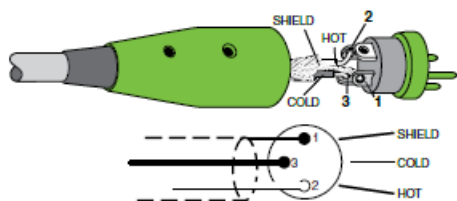
XLR／1/4 インチ コンボ入力「チャンネル 1」



メス XLR コネクタです。あらゆるソースからのマイク／ラインレベル入力を受け付けます。プロ用リボン、ダイナミック、コンデンサーマイクのいずれも、この入力で優れた音質で動作します。マイク／ライン入力は幅広いレベルに対応し、過大入力になりません。

入力レベルは、本製品前面のマイクレベルコントロールノブで調整します。[本体左側にある大きなノブです。目印として、ノブ下のシルク印刷にマイクとヘッドセットのアイコンがあります]

配線は **AES**（Audio Engineering Society／オーディオ技術協会）の規格に準拠しています。



XLR バランス配線

- ピン 1 = シールド（グラウンド）
- ピン 2 = プラス（+／ホット）
- ピン 3 = マイナス（-／コールド）

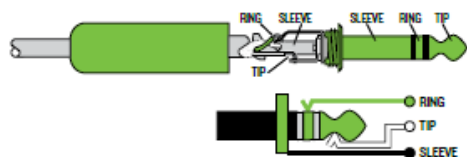
これらの入力、XLR コネクタによるバランスマイク／ライン信号に加えて、バランス／アンバランスの機器から送られる標準フォンのラインレベル信号も受け付けます。

バランス信号を接続する場合は、1/4 インチ **Tip-Ring-Sleeve (TRS)** プラグを使用してください。

「TRS」とは、**Tip**（先端）／**Ring**（リング）／**Sleeve**（スリーブ）の 3 つの接点を指し

ます。

TRS ジャックやプラグは、バランス信号やステレオヘッドフォンの接続に使用され、以下のように配線されています。

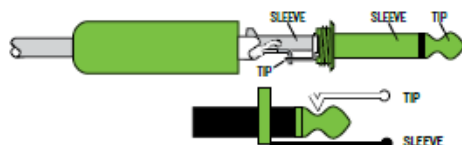


1/4 インチ TRS バランスモノラル配線

- Sleeve (スリーブ) = シールド
- Tip (先端) = ホット
- Ring (リング) = コールド

アンバランス回線をこれらの入力に接続するには、次のように配線した TS フォン・プラグを使用してください：

TS フォン (アンバランス・モノ) 配線



- Sleeve (スリーブ) = シールド
- Tip (先端) = ホット

注意

チャンネル 1 はこのコンボジャックと上部の 1/8 インチ TRRS ジャックを共用しますが、同時には動作しません。XLR 入力が優先します。

48V ファンタム電源スイッチ



多くのプロ用コンデンサーマイクは 48V ファンタム電源を必要とします。ミキサーが低電流の直流電圧を、音声信号を運ぶ同じ線でマイクの電子回路に供給します。セミプロ向けの一部コンデンサーマイクは、同様の目的で内蔵電池を使用します。「ファンタム」は、ダイナミックマイク（たとえば Shure SM57/SM58）のように外部電源を必要としないマイクに対しては「見えない」電源であり、影響を与えません。

マイクがファンタム電源を必要とする場合は、このスイッチを押してください。接続前に、必ずスイッチ位置を確認してください。

警告

シングルエンド（アンバランス）のマイクやリボンマイクを、ファンタム電源が入った状態でマイク入力ジャックに挿さないでください。ファンタム電源が入った状態で、楽器の

出力をマイク XLR 入力ジャックに挿さないでください。安全かどうか確信できない場合は実行しないでください。ファンタム電源を入れた状態でマイクを接続する際は、スピーカーからノイズが出ないように、必ずマイクレベルのつまみを下げるか、ミュートボタンを有効にしてください。

1/8 インチ ヘッドセットジャック [チャンネル 1]



この 1/8 インチ TRRS メスコネクターは、ゲーミング用ヘッドセットからのラインレベル信号を受け付けます。モノラルのマイクレベル入力と、ヘッドホンミックスのステレオ出力に対応します。

入力レベルは **MainStream** 前面のマイクレベルつまみで調整します（左側にある大きなつまみです。目印として、つまみ下のシルク印刷にマイクとヘッドセットのアイコンが表示されます）。

出力レベルは **MainStream** 前面のヘッドフォンレベルつまみで調整します（右側にある大きなつまみです。目印として、つまみ下のシルク印刷にヘッドフォンのアイコンが表示されます）。

警告

ヘッドセット用アンプは高出力です。機種によっては中程度の音量でも痛みを感じる場合があります。必ずボリュームつまみをいったん最小まで下げてからヘッドセットを装着してください。その後、慎重に少しずつ上げてください。

注意

チャンネル 1 の XLR マイク入力は 48V ファンタム電源に対応しますが、この 1/8 インチのマイク／ヘッドセット入力は対応しません。ただし、このジャックは「プラグインパワー」として+5V を供給します。

注意

チャンネル 1 では、この 1/8 インチ TRRS ジャックと、その下のコンボジャックは連動しますが、同時には動作しません。XLR 入力が優先されます。

ダイレクトモニタースイッチ



このスイッチをオンにすると入力信号をモニターできます。入力信号はヘッドフォンとモニターヘルーティングされます。

入力のモニタリングはアナログ領域で行います。遅延は発生しません。

コンピューターの PC リターン経由で処理後の声を戻して聴きたい場合は、このスイッチをオフにしてください。わずかな遅延が聞き取れる場合がありますので、注意してください。

1/8 インチ スマートフォン用ステレオジャック [チャンネル 2]



1/8 インチ TRRS コネクタにスマートフォンまたはタブレットを接続します。内蔵ミックスマイナス機能により、遠隔のゲストはエコーやループバックなしでリアルタイムにやり取りできます。

注意

このジャックは常にフルレベルです。音量は本製品ではなく接続機器側で調整します。ミュートボタンで消音できます。

このジャックは 1/8 インチ TRS コネクタにも対応します。TRRS 接続では送受信の両方に対応します。スマートフォンへ戻る信号はミックスマイナスです。配信のとき、ゲスト側にエコーやループバックは発生しません。

1/4 インチ ヘッドホンジャック



この 1/4 インチ TRS フォン端子は、ステレオヘッドホン（またはヘッドホンアンプ）へ出力します。音量はトップパネルのヘッドフォンつまみで調整します。ヘッドフォン出力の規格は次のとおりです。

Tip=左チャンネル

Ring=右チャンネル

Sleeve=グラウンド

警告

ヘッドフォンアンプは大音量で、聴覚に永続的な損傷を与えるおそれがあります。ヘッドフォンによっては中程度のレベルでも痛いほど大きく感じる場合があります。十分注意してください。ヘッドフォンを接続する前や、ヘッドフォン音量に影響する操作を行う前は、必ずヘッドフォンレベルつまみを最小まで下げてください。その後、注意して聴きながら少しずつ上げてください。

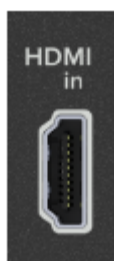
1/4 インチ モニターアウト L/R ジャック



これらの 1/4 インチ バランス・ステレオ出力ジャックは、パワードモニターの入力に接続します。出力信号は、すべての入力のステレオミックスです。ダイレクトモニタースイッチをオフにしない限り、チャンネル 1 も含まれます。出力レベルは **MainStream** 前面のモニター出力レベルつまみで調整します（**MainStream** 右側にある小さなつまみです。目印として、つまみの下のシルク印刷にモニターのアイコンが表示されます）。

サイズを問わず、**MR Series** や **CR-X / CR-XBT** モニターを強くおすすめします。詳しくは **Mackie** のウェブサイトをご覧ください。

HDMI 入力ジャック



HDMI ケーブルの一端をこのジャックに、もう一端をゲーム機、コンピューター、デジタル一眼レフカメラなどの映像・音声機器に接続してください。入力レベルは **MainStream** 前面の **HDMI** オーディオレベルつまみで調整します（**MainStream** 左下にある小さなつまみです。目印として、つまみの下のシルク印刷に **HDMI** ジャックのアイコンが表示されます）。

この HDMI Type A 2.0 入力、カテゴリ 3 の HDMI ケーブルに対応し、最大 4Kp60（Ultra HD）で伝送します。キャプチャ（取り込み）の最大解像度は 1080p60（フル HD）です。HDMI オーディオ入力は 24 ビット／48kHz です。

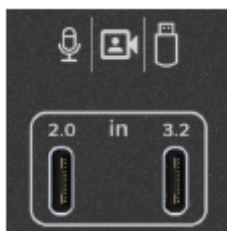
HDMI パススルージャック



この HDMI パススルージャックは、入力された HDMI 信号をパソコン用モニターやテレビへ低遅延でフル解像度（最大 4K60）で出力します。最大解像度でのリアルタイムゲームに最適です。HDMI ケーブルの一方を本ジャックに、もう一方をテレビまたはパソコン用モニターの HDMI 入力に接続してください。これにより、HDMI 入力の映像が接続先（テレビ／モニター）へ送られます。

HDMI Type A 2.0 のパススルージャックは、カテゴリ 3 の HDMI ケーブルに対応し、4Kp60（Ultra HD）の解像度で出力します。キャプチャの最大解像度は 1080p60（Full HD）です。HDMI パススルーのオーディオ出力は 24 ビット／48 kHz です。

デュアル USB-C 入力ハブ



2 系統の USB-C 入力は、実質的に USB ハブとして動作します。パソコンとの間でオーディオ、ビデオ、データを送受信します。ウェブカメラ、USB マイク、フラッシュドライブ、DSLR カメラなど、各種 USB-C 機器で使用できます。

これらの入力は USB-C 出力へ転送されます（入力の左隣にあります。なお、このコネクタは本機 MainStream の電源供給にも使用するため、通常はすでに USB-C 出力にケーブルが接続されています）。

受け側のパソコンでは、各入力が個別のデバイスとして認識されます。

お使いの機器に適したケーブルを必ず使用してください。右側の入力は高品質なウェブカメラ、マイク、その他の USB-C 機器に対応します。USB 3.0 以上の高性能機器を左側の入口に接続すると、性能が発揮されにくい場合があります。

注意

これらの USB-C 端子は入力専用です。電源は供給しません。

ファームウェアの更新

USB-C（電源）コネクタは、ファームウェア更新にも使用します。常に最新に保つため、製品ページからファームウェア更新用ソフトウェアをダウンロードしてください。

第 3 章：MainStream トップパネル



はじめに

MainStream には多数のノブ、ボタン、LED などが装備されています。項目が多いため、本章では左上付近の「PC オーディオリターンのレベル調整ノブ」から開始し、各部の名称と機能を順に説明します。

PC オーディオリターンのレベル調整ノブ



このノブは、パソコンから戻るオーディオの入力音量を、ヘッドフォン、モニター、ミックスマイナスへ送る際に調整します。
適切な設定のため、まずこのノブを時計回りにいっぱいまで回して最大にしてください。必要に応じて下げてください。
目盛りは∞（オフ）から最大ゲイン（MAX）までです。

マイクレベル調整ノブ (+Sig/OL LED)



このノブはチャンネル1（マイク／ヘッドセット）の音量を、ヘッドフォンおよびミックスマイナスへ送るために調整します。

調整範囲：

XLR/TRS 入力： ∞ （オフ）～ 最大ゲイン（+60 dBu）

1/8" TRRS ヘッドセット入力： ∞ （オフ）～ 最大ゲイン（+50 dBu）

付属の2色LEDは、チャンネル1（マイク／ヘッドセット）に信号があると緑に点灯します。-20 dBu 超の信号がある間は点灯し続けます。チャンネル1（マイク／ヘッドセット）の信号が高すぎる場合は赤に点灯し、過大入力を示します。これは避けてください。OL LED が頻繁に点灯する場合は、マイク／ヘッドセットに合わせてボリュームノブを正しく設定してください。OL LED はハードクリップが始まる約3 dB 手前で点灯します。

LED はチャンネルのレベル調整ノブの後段で測定しますが、出力レベルノブの前段です。

AUX ミュートボタン



ミュートスイッチは名称どおり、信号を“どこにも送らない”ようにして無音化します。このボタンを押すと、チャンネル2（1/8" AUX）入力をミュートします。AUX ミュートを有効にすると、機器の音量を最小まで下げたのと（ほぼ）同じ結果になります。

ミュートボタンは有効時に赤く点灯します。

マイクミュートボタン



ミュートスイッチは名称どおり、信号を“どこにも送らない”ようにして無音化します。このボタンを押すと、チャンネル1（マイク／ヘッドセット）入力をミュートします。マイクミュートを有効にすると、マイクレベル調整ノブを最小まで下げたのと（ほぼ）同じ結果になります。

ミュートボタンは有効時に赤く点灯します。

ヘッドフォンレベル調整ノブ



このノブは、1/4 インチ・ヘッドフォン出力および 1/8 インチ・ヘッドセット出力の音量を、∞（オフ）から最大ゲイン（MAX）まで調整します。新しい音源を選択または追加する前に、このノブが完全にオフになっているか必ず確認してください。

警告

ヘッドフォンアンプは高出力で、恒久的な聴覚障害を引き起こすおそれがあります。機種によっては中間程度の音量でも非常に大きく感じる場合があります。十分に注意してください。ヘッドフォンを接続する前や、ヘッドフォン音量に影響する操作を行う前には、必ずヘッドフォンレベルをいったん最小まで下げてください。接続後は、音を確認しながらゆっくり上げてください。

モニターレベル調整ノブ



このノブはモニター出力の音量を調整します。∞（オフ、最小：左端）から最大ゲイン（MAX：右端）まで設定できます。ここから出力される信号は、すべての入力のステレオミックスです。ダイレクトモニタースイッチを解除した場合を除き、チャンネル 1 も含みます。

HDMI オーディオ ミュートボタン



ミュートスイッチは名称どおり、信号を“どこにも送らない”ようにして無音化します。このボタンを押すと、ヘッドフォン、モニター、ミックスマイナスへ送られる HDMI オーディオをミュートします。HDMI オーディオ ミュートを有効にすると、HDMI オーディオレベル調整ノブを最小まで下げたのと（ほぼ）同じ結果になります。

ミュートボタンは有効時に赤く点灯します（左図参照）。

ヘッドフォン／モニター ミュートボタン



ミュートスイッチは名称どおり、信号を“どこにも送らない”ようにして無音化します。このボタンを押すと、1/4 インチ・ヘッドフォン出力、1/8 インチ・ヘッドセット出力、1/4 インチ・モニター出力へ送られるヘッドフォンおよびモニターの信号をミュートします。ヘッドフォン／モニター ミュートを有効にすると、ヘッドフォンレベル調整ノブとモニターレベル調整ノブを最小まで下げたのと（ほぼ）同じ結果になります。

ミュートボタンは有効時に赤く点灯します。

HDMI オーディオ レベル調整ノブ

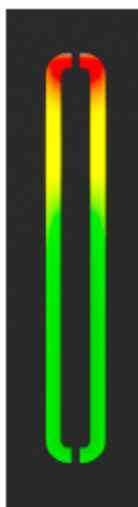


このノブは、HDMI オーディオの入力音量をヘッドフォン、モニター、ミックスマイナス出力へ送るために調整します。

適切な設定のため、まずこのノブを時計回りにいっぱいまで回して最大にしてください。必要に応じて下げてください。

目盛りは∞（オフ）から最大ゲイン（MAX）までです。

メインメーター



出力メーターは、ステレオで出力信号レベルを表示します。通常は緑を維持し、ときどき黄に触れる程度にしてください。黄が継続して点灯する、または赤（クリッピング）が点く場合は、赤が消えるまで出力を下げ、あわせて入力レベルも確認してください。

赤（クリッピング）＝過大入力（OL）

黄＝+4 dBu ～ +15 dBu

緑（下部）＝-30 dBu ～ +3 dBu

出力メーターは、ヘッドフォン出力レベル調整ノブの後段のオーディオ信号を反映します。

マルチファンクションキー



この6つのマルチファンクションキー（F1～F6）は、2つの役割があります。

まず、プログラム可能で、シーン切り替え、バーチャルサンプルパッドのトリガーなど、任意のタスクを割り当てられます。OBSを含む任意のアプリのホットキー設定から割り当ててください。

これらのキーは、PCやMacのファンクションキーと同等の機能を模倣し、割り当てた機能の“トリガー”として動作します。タップすると、そのキーのLEDがより明るく点灯し、割り当てた機能が作動したことを示します。

さらに、ゲーマー向けの“チートコード”としても使えます。2つのキーを同時に2秒間押し続けてから離す操作で、すべてのゲームを“解除”できます。はじめに四角キーと丸キーを押して離し、続けて三角キーとランニングマンキーを押して離してください。

プレイ中のゲームは、チートモードに入ったことを通知します。複数の“チート”が利用可能な場合は、メインメーター上を指で上下にスライドしてスクロールし、離して選択してください。

注意

この機能は、メインメーターで指紋を読み取る設定を済ませている場合にのみ動作します。未設定の場合は動作しません。

接続

ゲーム機ストリーミング設定

ウェブカメラ

モニター

ゲーム機



ノートパソコン

ゲーミングヘッドセット

メインストリームは、Switch、Xbox、PlayStation など各種ゲーム機に対応したキャプチャーデバイスです。ゲーム機を「HDMI 入力」に接続し、「パススルー」をテレビへつなげてください。軽量のノートパソコンとヘッドセットだけで、低コストでも高品質に配信できます。

ゲーミング PC ストリーミング設定



Mackie MainStream を中心に、プロ品質のライブ配信環境を構築できます。HDMI で接続するハイエンド一眼レフカメラ、別アングル用の USB ウェブカメラに加え、高品質な XLR 放送用マイクとヘッドフォンに対応します。すべてを USB-C ケーブル 1 本で PC につなげます。

チャット・ストリーミング設定



Mackie MainStream は高い柔軟性があり、あらゆる配信に最適なインターフェースです。この「チャット」構成では、一眼レフカメラ、USB マイク、スマートフォンを使用し、通話ゲストとの会話に対応します。（ミックス・マイナス機能により、通話相手にエコーが聞こえません。）

付録 A：サービス情報

トラブルシューティング

Mackie 製品に問題があると感じた場合は、まず以下のトラブルシューティングを確認してください。弊社ウェブサイトのサポート (www.mackie.com) も参照してください。製品を送らずに解決できる場合があります。

以下は、記載の不具合（あるいは未発見の問題）を修正できる有用なヒントです。

初期確認手順：音が出ない（または異常な）症状がある場合は、7 ページの初期設定手順に従い、システム内のすべてのボリュームが正しく調整されているか確認してください。

ユーザーが修理できる部品はありません。解決しない場合は、次ページの「修理」を参照してください。

電源が入らない

- ・ まずは定番の確認です。電源プラグを差し込んでください。
- ・ 次に、コンピューターの電源を入れてください（少なくとも通電させてください）。
- ・ 周辺一帯で停電していないか確認してください。停電の場合は、電力会社へ復旧を依頼してください。

音が出ない

- ・ 入力／出力ノブが最小（反時計回りいっぱい）やミュートになっていないか確認してください。
- ・ すべての接続に問題がないか確認してください。各ケーブルが正常に動作し、両端が確実に接続されているか確認してください。
- ・ 信号ソースの電源を入れてください。正常に動作しているか確認してください。

ノイズ／ハム

- ・ アンバランスケーブルを使用していますか。バランスケーブルに差し替えて改善するか確認してください。
- ・ 外部オーディオ機器を同一の AC 回路に接続し、共通グラウンドを共有すると改善する場合があります。

その他の問題

・ 記載以外の問題がある場合は、サウンドハウス、テクニカルサポートへメールまたはお電話でお問い合わせください：

修理

保証対応、保証外の修理については、27 ページの保証情報を参照してください。

付録 B：技術情報

仕様

音響性能

全入出力の周波数特性（-10dB）：.....20 Hz ～ 20 kHz

ダイナミックレンジ：

マイク／ライン入力、モニター／ヘッドフォン出力：

（ゲイン最小、ボリューム最大、レベル=0 dBFS）：.....>94 dB

S/N 比：

マイク／ライン入力、モニター／ヘッドフォン出力：

（ゲイン最小、ボリューム最大、レベル=0 dBFS）：.....>94 dB

マイクプリアンプ ゲイン範囲：.....0～60 dB

Onyx マイクプリアンプ

入出力

映像入力タイプ：.....HDMI Type A

2.0、USB-C ≥2.0、USB-C ≥3.2

HDMI スルー出力のタイプ：.....HDMI Type A 2.0

HDMI スルー出力の最大解像度：.....4Kp60 (Ultra HD)

キャプチャの最大解像度：.....1080p60 (Full HD)

音声入力タイプ：XLR コンボジャック（マイク／楽器）、1/8 インチ TRRS ヘッドセット端子、1/8 インチ AUX ライン入力端子、HDMI 入力

マイク／ライン入力インピーダンス :3.2 k Ω

モニター出力インピーダンス :150 Ω

USB オーディオフォーマット

ビット深度 : 24 ビット

サンプリングレート : 48 kHz

電源要件

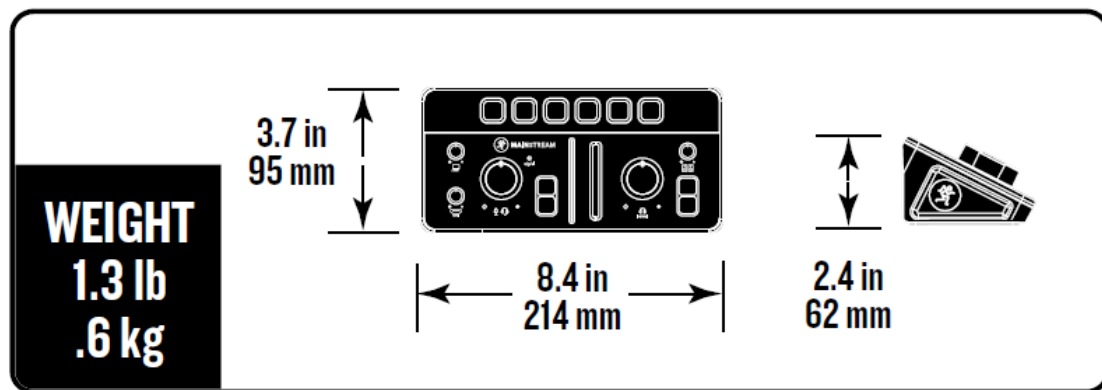
USB バスパワー7.5W – 15W (USB-C
3.1)

動作温度 :0–45°C

外形寸法

サイズ (H × W × D) : 62 × 214 × 95 mm

重量 :0.6 kg



品番、改訂および日付 :SW448、改訂 A、2023 年 12 月

ブロックダイアグラム

